

平成 31 年度三重大学国際交流事業実施報告書 (学内版)

1. 申請部局

学部・研究科名等：人文学部

事業担当者の職・氏名：准教授 吉野 由起

内線電話番号： 9135

電子メール：y.yoshino@human.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称 (20 字以内, 別に副題を付けても良い)

「人文系アカデミックスキルを鍛えるキャリア英語実践プログラム 2019」の  
引率及び現地受入状況調査

3. 事業内容の別 (該当するところにチェックを入れてください。)

教職員, 学生の海外派遣 (学会やシンポジウム等の出席は除く)

海外交流機関等からの教職員, 学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

## 4. 事業の取組結果

(1) 事業概要 (簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください)

本事業では三重大学人文学部生を対象とする、オックスフォード大学ハートフォード・カレッジで実施される夏期英語研修 (2019 年度 JASSO 海外留学支援制度 (協定派遣)採択課題「人文系アカデミックスキルを鍛えるキャリア英語実践プログラム 2019」)の引率及び現地受入状況調査を行った。

|              |  |
|--------------|--|
| 研修期間         | 2019 年 9 月 1 日 (日)～9 月 15 日 (日) (15 日間、機内 1 泊)   |
| 研修先          | 英国オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ   |
| 参加者人数        | 人文学部生 10 名 (2～3 年; 文化学科 3 名 法律経済学科 7 名)  |
| 研修内容         | <p>国際的な人材の育成を目的として、人文学部生対象にテイラー・メイドされた英語運用能力の向上とイギリス文化および社会を学ぶための英語研修プログラム</p> <p>(1) 英語研修 (月～金) (合計 40 時間、内容はアカデミック・イングリッシュ、ビジネス・イングリッシュ、イギリスの文化と社会)</p> <p>(2) フィールドスタディ オックスフォード大学 (附属のボドリアン図書館、アシュモリアン美術館を含む) および市内の見学</p> <p>(3) フィールドスタディ スタディ・トリップ (近郊のコッツウォルズ地域等の見学)</p> <p>(4) 授業時間外に RA (オックスフォード大学生が任命される Residential Adviser) と行うアクティビティ</p> <p>(5) ハートフォード・カレッジ学生寮に宿泊、伝統的な大学寮生活の体験</p> <p>・オックスフォード大学ハートフォード・カレッジが研修の運営を行い、学生のサポートは RA3 名が担当した。</p> <p>・三重大学人文学部では渡航前の事前研修を 3 回、帰国後の事後研修を 1 回実施し、報告会にも参加した。</p> |
| 引率及び現地受入状況調査 | <p>渡航から帰国まで教員が引率。研修期間中に引率教員は研修の実施体制、受入から修了式までの運営プロセス、宿泊施設の確認を含めた調査を実施し、現状と課題を確認した上で、研修先ハートフォード・カレッジ国際プログラムディレクター他担当者とプログラム内容および今後の交流計画について打ち合わせを行った。</p>   |

(2) 事業の背景・これまでの実績

2012 年度に開始した本研修プログラムは今年度で 8 年目を迎え、毎年 4～10 名の少数ではあるが継続的に学生の派遣を行ってきた。2014 年度から 2019 年度まで継続して JASSO 海外留学支援制度 (協定派遣) 採択課題である。例年、文化学科・法律経済学科の両学科の 1 年生から 3 年生の学生の参加があり、過年度の参加者からは長期海外

留学、英語での卒業論文執筆、教職(英語、社会など)、学芸員の資格取得、留学生サポートのボランティア等の国際交流活動に取り組む学生を輩出し、継続的な言語学習への強い動機付けに加え、国際的な視野の広がりや国際人としての成長や、異文化への適応力の高まりが認められ、大きな成果を上げている。

### (3) 事業実施結果

今年度も海外渡航未経験者が多かったため、事前研修では初歩的な渡航上の注意点やリスク管理の確認も特に慎重に行った。研修期間中はトラブルもなく全員無事に修了した。



全体で受講した講義風景

(2週目の講義のみ、オックスフォード大学歴史学科 Lecture Theatre が会場)



集合写真

(ハートフォード校本部中庭で撮影)



ハートフォード・カレッジ本部



授業風景

・昨年度試行した運営方法—海外の大学への本格的な留学を想定し、人文学部で行われている各分野の専門教育との接点を増やし、2年次以上の学生の参加もより促すことができるよう、英語面と内容面の両面で実際のイギリスの大学で行われている講義に近い水準の、イギリスの政治・経済をテーマとする講義を4コマ設置し、学生が研修生活に慣れる時期である2週目に実施する—を今年度も内容を微調整した上で継続

した。特に経済に関する講義は、実際にイギリスの大学で教えている講師が招聘され、担当した。

・1週目の研修が終了した段階で中間アンケートを実施し、結果をもとにハートフォード校本部と打合せを行い、2週目の研修内容の難易度の微調整を行った。

・今回は参加者が昨年から倍増したが1年生の参加者が1名もなく、2年生から3年生で構成され、海外語学研修の経験者の参加もみられるという、珍しい年度となった。この為、語学研修という枠と予算内で、学生の知的好奇心を満足させつつ、現実的な語学面での難易度が適正である為の調整が例年以上に難しい年度であったが、満足度は例年よりも低下した。研修先のアカデミック・スタッフやジョイント参加大学教員、シニア・ティーチャーと担当講師とも打ち合わせや調整を行っているが、このバランス調整は、長期的な課題と思われる。

#### (4) 事業の意義

少人数クラスの授業を主とする本研修は、オックスフォードという場所を活かしたフィールド・スタディと課外活動もバランスよく含み、RAの存在により現地の学生との交流の機会も豊富に設けられている点が大きな特色である。

授業では基礎的な内容ではあるが、人文学部の文化学科・法律経済学科で研究教育が行われている各専門分野に関連するトピックについて、レクチャー受講、ディスカッション、プレゼンテーションの練習を積んだ。昨年度に引き続き、イギリスの政治・経済を扱う授業を4コマ新設し、参加者が研修生活に慣れてきた2週目に実施した。この試みの狙いは、人文学部における専門教育との接点を増やし、2年次以上の学生の参加をさらに促すことと、海外の大学での本格的な留學生活の一端を体験できる機会とすることである。

例年通り、終盤の発表会では参加者全員がプレゼンテーションと質疑応答を行い発信力とコミュニケーション能力を鍛えた。

フィールド・スタディでは、英語による事前学習を行なった上でオックスフォード大学附属の図書館・美術館等関連施設や、近郊で特色のある地域として知られるコッツウォルズ地域の見学を行った。長い伝統を持つと同時に世界有数の最先端の研究教育機関であるオックスフォード大学は西欧における人類の知の営みの結晶の一つであり、貴重な資料や史跡も豊富に展示されている。また大学を擁するオックスフォード市も歴史を持ち、近郊には自動車等の産業の拠点もある等、大学都市以外の側面も持つ都市であり、高齢化や文化財的な建築物等の維持管理等、地域としての課題にも直面している。

オックスフォード大学生のRAと行う課外時間活動は、企画の段階からRAと学生で相談をしつつ実施した。例年大学附属の博物館や植物園の見学、大学の建築物や紋章の観察、シェイクスピア野外劇の観劇等、オックスフォードという土地を活かした文化体験活動が行われている。

以上の経験は、参加者に直接的および間接的に長期的に有益な効果を及ぼし、各専門分野での学究や成果の発信に加え、卒業後での多様な進路での実務、国際交流および地域貢献活動で活躍する人材の養成に資するであろうと期待される。

#### (5) 事業の発展性

2020年度の実施に関しては、コロナウイルスのため今後の見通しは不透明ではあるが、2019年9月から研修先等関係者と打ち合わせを開始しており、現在も2020年度の本事業担当教員が定期的に関係者との連絡を取り合っている。2017年9月下旬には研修先オックスフォード大学ハートフォード・カレッジの国際プログラムディレクターである、アンドリュー・ヘミングウェイ氏が人文学部を訪問され、安食和宏人文学部長と懇談されており、今後も信頼関係と交流を継続していきたい。

本研修の長期的検討課題は (a)あくまでも語学研修の授業という制限はあるが、専門分野との関連がより深く、本格的な留學生活の一端を体験できるようなアカデミックな研修内容の実現、(b)より国際的な研修環境の実現、(c)研修および渡航費用の学生の負担、の三点である。(a)に関しては2018年度から2019年度にかけてイギリスの政治・経済を扱う授業を試行した。(b)については情報収集を継続している。(c)については2019年度もJASSOより一人8万円の支援を受けることができたが、2020年度以降については何らかの支援が必要である。

#### (6) 中期目標・中期計画における位置づけ

本研修先のオックスフォードおよびフィールド・スタディで訪れた近郊の地域は、最先端の知を生み出す学問の都であり、さらに文化的・歴史的な遺産を有すると同時に現代社会の課題に直面する一地方都市としての側面をあわせもつ点で、県内唯一の総合国立大学として「地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す」(第三期中期目標前文より引用) 使命を持つ三重大学の人文学部生研修先に理想的な環境であるといえる。

本研修はまず中期目標「4 その他の目標」で挙げられたグローバル化に関する各目標に該当する。また、中期目標「1 教育に関する目標」に関しては、「(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標—2」で謳われた「国際性を活かしたカリキュラムや実践型カリキュラム」「各学部の特性を踏まえた学士課程のカリキュラム」「学際的・総合的視野をもち国際的にも活躍できる行動な専門職業人を育成するプログラム」の一環と位置づけることが可能である。加えて、本研修のオックスフォード市内および近郊地域の見学による、英国における地域の現状と課題への取り組みのケース・スタディ経験の蓄積は、「(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標—2」の「三重県における地域創生」に貢献する人材養成にも間接的に資する可能性をもちうる。

(7) その他 1282年創立のハートフォード・カレッジはオックスフォード有数の伝統を誇るカレッジである。同カレッジの英語研修に参加している大学には、早稲田大学、関西学院大学、立教大学等があり、2018年度には関西圏の国立大学も参加を始めたとのことで、現在も国内の大学からの関心は高いと推察される。地方国立大学で派遣学生数の少ない三重大学人文学部が8年前から毎年この研修に参加してきた実績はユニークで貴重なものであり、背景にはこれまでの交流で培われた信頼関係が大きい。今後もこの信頼関係を大切に維持したい。

## 平成 31 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

**「人文系アカデミックスキルを鍛えるキャリア英語実践プログラム 2019」  
引率及び現地受入状況調査（人文学部）**

**(1) 事業概要**

本事業では三重大学人文学部生を対象とする、オックスフォード大学ハートフォード・カレッジで実施される夏期英語研修（2019 年度 JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）採択課題「人文系アカデミックスキルを鍛えるキャリア英語実践プログラム 2019」）の引率及び現地受入状況調査を行った。

|       |  |
|-------|--|
| 研修期間  | 2019 年 9 月 1 日（日）～9 月 15 日（日）（15 日間、機内 1 泊）  |
| 研修先   | 英国オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ   |
| 参加者人数 | 人文学部生 10 名（2～3 年；文化学科 3 名 法律経済学科 7 名）  |
| 研修内容  | <p>国際的な人材の育成を目的として、人文学部生対象にテイラー・メイドされた英語運用能力の向上とイギリス文化および社会を学ぶための英語研修プログラム</p> <p>(1) 英語研修（授業およびワークショップ、アカデミック・イングリッシュ、ビジネス・イングリッシュ、イギリスの文化と社会）</p> <p>(2) フィールドスタディ オックスフォード大学（附属のボドリアン図書館、アシュモリアン美術館を含む）および市内の見学</p> <p>(3) フィールドスタディ スタディ・トリップ（近郊のコッツウォルズ地域等の見学）</p> <p>(4) 授業時間外に RA（オックスフォード大学生が任命される Residential Adviser）と行うアクティビティ</p> <p>(5) ハートフォード・カレッジ学生寮に宿泊、伝統的な大学寮生活の体験</p> <p>・三重大学人文学部では渡航前の事前研修を 3 回、帰国後の事後研修を 1 回実施し、報告会にも参加した。</p> |

## (2) 事業の背景・これまでの実績

2012 年度に開始した本研修プログラムは今年度で 8 年目を迎え、毎年少数ではあるが継続的に学生の派遣を行っている。2014 年度から継続して JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）採択課題であり、本年度も助成を受けた。

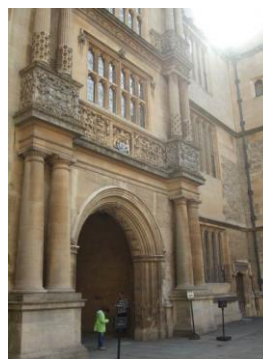
例年、文化学科・法律経済学科の両学科の学生の参加がみられ、過年度の修了者からは長期海外留学、英語での卒業論文執筆、教職（英語、社会など）、学芸員の資格取得、留学生サポートのボランティア等の国際交流活動に取り組む学生を輩出し、継続的な言語学習への強い動機付けに加え、国際的な視野の広がりや国際人としての成長や、異文化への適応力の高まりが認められ、大きな成果を上げている。



オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ

## (3) 事業実施結果

今年度も海外渡航未経験者が多かったため、事前研修では初歩的な渡航上の注意の確認も特に慎重に行った。研修期間中はトラブルもなく全員無事に修了した。



オックスフォード大学附属ボドリアン図書館

## (4) 事業の意義

1282年創立のハートフォード・カレッジはオックスフォード有数の歴史を誇るカレッジである。オックスフォードおよび近郊の地域は、最先端の知を生み出す学問の都という側面、文化的・歴史的な遺産を有する地域としての側面、さらに現代の世界の他の地域と共通の課題に直面する一地方都市としての側面を合わせもつ点で、三重大学人文学部生の研修先として理想的な環境である。少人数クラスの授業を主とする本研修は、オックスフォードという立地条件を活かしたフィールド・スタディと課外活動もバランスよく含み、RA の存在により現地の学生との交流の機会も豊富な点が大きな特色である。研修での経験は、参加者に長期的に有益な効果を及ぼし、各専門分野での学究や成果の発信に加え、卒業後での多様な進路での実務、国際交流および地域貢献活動で活躍する人材の養成に資すると期待される。

## 平成 31 年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

**An On-the-spot Survey of the ‘Academic Skills and Practical English Programme for Humanities Students 2019’ (Faculty of Humanities, Law and Economics, Mie University)**

**(1) Overview**

This project conducted an on-the-spot survey of the ‘Practical English and Academic Skills Programme for Humanities Students 2019’: a summer programme administered by and held at Hertford College, the University of Oxford. The programme was specifically designed for humanities students.

|                        |   |
|------------------------|---|
| Programme Dates        | 1 September 2019 – 15 September 2019  |
| Organiser              | Hertford College, the University of Oxford (UK)   |
| Number of Participants | 10 undergraduate students from the Faculty of Humanities, Law and Economics, Mie University (1 teacher accompanied the group)   |
| Objectives and Details | <p><u>Objectives</u></p> <p>Enabling humanities students to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-acquire international perspectives</li> <li>-improve academic as well as practical English skills</li> <li>-deepen their understanding of British culture and society</li> </ul> <p><u>Details</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) English classes and workshops (‘Academic English’, ‘Business English’ and ‘British Culture and Society’)</li> <li>(2) Field studies within Oxford (visits to the Bodleian Library, Ashmolean Museum and the city of Oxford)</li> <li>(3) Field studies outside of Oxford (a study trip to the neighbouring areas including the Cotswolds)</li> <li>(4) Extracurricular activities with RAs (Residential Advisors appointed from students of the University of Oxford)</li> <li>(5) Participants stay in one of the college’s residence halls.</li> </ol> <p>A pre-session orientation course (comprising three sessions) and a post-session follow-up meeting were held in the Faculty of Humanities, Law and Economics at Mie University.</p> |

**(2) Background**

Since 2012, the Faculty of the Humanities, Law and Economics at Mie University has continuously sent a small number of undergraduate students to the Summer Programme at Hertford College, the University of Oxford.

The project has been partially funded by the JASSO Student Exchange Support scholarship since 2014 onwards. Every summer, students from the Department of Humanities and the Department of Law and Economics—the two departments comprising the Faculty—attend the programme. Through their participation, the students have successfully achieved remarkable improvements in their academic competence underpinned by international perspectives and sophisticated English skills.



**Hertford College, University of Oxford**

Many alumni of the programme, back in Mie, actively join volunteer activities to meet and help international students, while others set out to study abroad for a longer period, obtain qualifications (teachers and curators), and write their theses in English.

### **(3) Results**

Given the large percentage of participants who had never travelled abroad, the pre-sessional orientation course placed emphases on basic tips for visiting overseas countries. Without encountering any accidents, all the participants safely completed the programme.



**The Bodleian Library,  
University of Oxford**

### **(4) Significances**

Founded in 1282, Hertford College is one of the most historical colleges of the University of Oxford.

Oxford and its neighbouring areas have unique aspects as a region where the world's leading academic institution is located, a region with cultural and historic heritage, and a region which shares common problems with various places in today's world. These create an invaluable educational environment for the students of the Faculty of Humanities, Law and Economics at Mie University. In the Summer Programme students mostly work in small classes. It is orchestrated with field studies and extra-curricular activities which draw on the unique characteristics of Oxford. The participants have abundant opportunities to communicate and cooperate with the local students (RAs) in the extra-curricular activities. These experiences are beneficial to the participants, exerting both instant and long-term effects; they will help develop students' ability to pursue their studies in their chosen fields and communicate their ideas. These will also contribute to the fostering of talented professionals who play active roles in various career paths, with the competence to deal with international as well as regional issues.